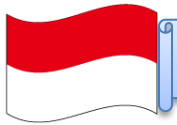


～グローバル防災・減災プログラム～

ファミリーマートとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが
インドネシア北ジャカルタマルンダ地域で避難訓練を実施活動報告
2016年5月26日（木）Save the Children
JAPAN

ファミリーマートは、「次世代を担うこどもたちの育成・支援」のため、「ファミリーマートグローバルこども募金」を2014年より開始し、アジア地域における用途限定の「防災＜災害リスク軽減＞教育」を実施するために、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付しています。2015年度の活動として、インドネシアでは「北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム」を実施しており、応急処置研修、消防・防火活動訓練、啓発ツールの配布などを通して学校及び地域住民の防災・減災意識向上につなげていきます。

5月26日に北ジャカルタのマルンダ地域で避難訓練を行いました。学校、行政、地域コミュニティーとインドネシアファミリーマートの社員ボランティア5名を含む約610人が参加、洪水発生時の防災・減災に対する意識を向上させることができました。

2回目となる避難訓練は、1回目の経験・教訓をいかし防災スキル向上を目指しています

今回マルンダ地域における避難訓練は1月28日のカリバル地域で実施された避難訓練に続き、インドネシアの北ジャカルタ地区における避難訓練は2015年度では2回目となりました。

マルンダ地域もチリンチン地区にある低所得者が多く生活する地域で、海岸に面した地域です。近年では気候変動や森林伐採、急激な都市化が原因で引き起こされた洪水により、多くの人が避難を余儀なくされており、特にスラム街に住む貧しい人々の生活を脅かしています。

今回の訓練に向けて、行政・学校・地域住民代表等が参加したワークショップを行いました。ワークショップで協議を重ね、前回の避難訓練を振り返りながら、避難ルートの設定や役割分担など準備や調整を進めてきました。前回の経験・教訓として「地域レベルでの防災対応強化への取り組みの必要性」、「恒常的な防災体制を築くため、散発的な訓練に留まらない災害対応プロセス体制を構築し、災害リスクマップやマニュアルを地域レベルで整える必要性」、「避難訓練プロセスのビデオを完成させ、これまでの本避難訓練の参加者や関係者および他の地域と共有する必要性」等といった点があげられ、さらなる強い災害対応体制作りに生かしています。

【関連ページ】

■ 前回避難訓練活動報告

(インドネシア北ジャカルタカリバル地域で実施)

http://www.family.co.jp/company/eco_topics/hc0g740000330r1p-att/hc0g74000033l3lf.pdf#zoom=100

■ グローバルCSR～こども支援～

http://www.family.co.jp/company/eco/special/2013_03/drr.html

■ セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (外部リンク)

<http://www.savechildren.or.jp/>

© Save the Children Indonesia

行政・学校・地域住民代表等が参加した避難訓練準備のための会議の様子

避難訓練にインドネシアファミリーマートの社員5名が参加しました

避難訓練は数日の暴雨と洪水を想定し、SDS Al-Ikhwan小学校及び周辺コミュニティで実施しました。これまでの事業で実施されてきた「ライフスキル能力研修」と避難訓練の成果を踏まえながら、学校周辺の地域も巻き込んだ避難訓練を計画しました。役割分担に応じてセクターを7つに分けられ、参加者全員を3つのグループに配置し、該当セクターの役割を果たしていました。

地域社会の課題をともに考え、解決するため、インドネシアファミリーマートからも社員ボランティア5名が参加しました。約610名が参加した約5時間続けた避難訓練は、災害認識向上を図るとともに、安全が確保された場所として機能させ、活用することができるということが確認できました。

最後に避難訓練実施評価・振り返りを行い、今後の災害に備え、各セクターのコーディネーションの必要性が経験・教訓としてまとめました。

ファミリーマートは学校と地域コミュニティを巻き込んだ避難訓練を通して子どもたちをはじめ、地域住民の防災能力向上を目指すと考えております。

実施内容

■セクター配分及び役割配置

1. 避難セクター（早期警戒システム、搜索と救護、救急救命を担当）
2. 医療セクター（避難者の健康と安全確保に対応）
3. ロジスティックセクター（物資の受け取り、設置、記録等）
4. 施設インフラセクター（各セクターに必要な施設とインフラが確保されているかを確認）
5. 保護セクター（避難者の安全に配慮、例：女性への配慮、人々の間での争いの予防や調整）
6. 教育セクター（緊急状況下での教育の機会の確保、心理的サポート等）
7. マネージメントセクター（被害、喪失、ニーズなどの記録と司令官への報告、外部支援機関との調整）

■グループ配分及びセクター担当

- ・災害直後グループ（避難セクター）
- ・緊急状況下における災害後マネージメントグループ（セクターごとの対応・行動、医療セクター、ロジセクター、施設インフラセクター、保護セクター、教育セクター）
- ・データ収集、報告、調整グループ（マネージメントセクター、教育セクターの簡易アセスメント）



連日の暴雨のシミュレーションで避難訓練を実施



多民族、多宗教の子どもたちと地域住民が参加



洪水災害時、避難所への移動を助けあう子どもたち



応急処置研修で学んだ手当てを避難訓練で実践する住民ら



医療セクターで保健衛生係としての役割を担った子どもたちは手洗いの徹底を促進



マネージメントセクターでデータを収集し災害状況を把握

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。